

館をもちし所より海山の冒及を難延哉あ
押寄て攻りし後終に好水より吹浦に中
程秋田の勢は夷破られしと云く吹浦村
孫たきつといふる姓の先祖一時の志意小
よりて老子子列の田地宛移りしる感状
あり花押の上は氏の字あれは何人といふ
事を知るに十ヶ年以前に見付れば年号
月日も今ハマすれ付る程追て得ぬへー又
津太忠つ家は軍器屋廟あり海面重砂子
よりて勝利の二字を名て至く難延哉あ

云ーハ名上出羽守成康氏なりけし時の合
戦は玄士社中に記へー社家の事を棄て
五中成を具ーしりるを人代を出ーて五
海ーりる事松村氏の志意又赤書坊り
妻女を橋の下に隠れ又々氏沼田城へ逃入
ーにまゝく欠意りるものなり河川の橋を引
きて川は氾入水は満ちて死ーるもの其
教を志しさりーと今よ人はよみあり
徳家お太平記には若狭少將勝利とあり
長末大蔵大補より立お達の事なり 権現